

トピックスから
見る



目 次

凡 例	(6)
トピックスから見る昭和時代	
本 文	1
事項名索引	405

凡 例

1. 本書の内容

本書は、昭和時代の出来事を年月日順に掲載した記録事典である。

2. 収録対象

- (1) 昭和時代における政策、法律・制度、技術、出版、社会、団体、事件、生活などの出来事をトピックとして収録した。
- (2) 収録期間は昭和元（1926）年12月25日から昭和64（1989）年1月7日までの60余年に渡る昭和期、収録項目は6,224件である。

3. 排 列

- (1) 各項目を年月日順に排列した。
- (2) 日が不明な場合は各月の終わりに、月日とも不明または確定できないものは「この年」として、おおよその年しか分からない場合は「この頃」として、各年の末尾に置いた。

4. 記載事項

各項目は、内容を簡潔に表示した見出し、本文記事で構成した。

5. 事項名索引

- (1) 本文記事に現れる用語、テーマ、人名、団体名などを事項名とし、読みの五十音順に排列した。
- (2) 各事項の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。
- (3) 年月日末尾に「*」がある場合、該当記事は「◆主なできごと」下に掲載されている。

6. 参考文献

本書の編集に際し、主に以下の資料を参考にした。

『完全版 昭和・平成史年表』平凡社編 平凡社 2019.7

『増補完全版 昭和・平成 現代史年表』神田文人、小林英夫編著 小学館
2019.7

『年表 昭和・平成史 新版1926-2019』中村政則、森武磨編 岩波書店
2019.7

その他、官庁・企業・施設 HP など

大正15年/昭和1年(1926)

◆首相

若槻禮次郎(第25代) 在職期間：1926.1.30～1927.4.20(第1次若槻内閣)

◆主なできごと

・大正天皇死去、裕仁親王踐祚(昭和と改元)[12.25]

- 12.25 昭和の始まり 大正天皇が没し、「昭和」と改元。日本放送協会が、大正天皇崩御を東京では午前2時54分、大阪・名古屋では午前3時に速報した。以降、時報、ニュース、天気予報以外の放送が中止となった。新聞各紙は翌日から日付に昭和を用いたが、雑誌の新年号は既に店頭に並んでいたため修正が間に合わず、発行日が大正16年1月1日付となっていた。また歌舞音曲が6日間停止となった。

昭和2年(1927)

◆首相

若槻禮次郎(第25代) 在職期間：1926.1.30～1927.4.20(第1次若槻内閣)

田中義一(第26代) 在職期間：1927.4.20～1929.7.2

◆主なできごと

- ・丹後地震発生(京都府下大惨事)[3.7]
 - ・兵役法公布(徴兵令廃止)[4.1]
 - ・第1次山東出兵[5.28]
 - ・京都学連事件(治安維持法初適用)[5.30]
 - ・立憲民主党結成(総裁浜口雄幸。2大政党時代開始)[6.1]
 - ・東方会議開催(対中国政策決定)[6.27]
 - ・芥川龍之介服毒自殺[7.24]
 - ・大連会議開催(満洲問題協議)[8.14～15]
 - ・『労農』創刊(労農派形成)[12.6]
- 《キネマ旬報ベスト・テン》 第4回【日本映画】「忠次旅日記 信州血笑篇」(伊藤大輔監督)、【外国映画】「第七天国」(フランク・ボーサージ監督)
- 1.4 青い目の人形 留学先のイギリスからの帰国途中にアメリカを訪問していた秩父宮雍仁が、大正天皇崩御の報を受け帰国。日米友好のために贈られた500体の「青い目の人形」とともにサンフランシスコを出発する。3月3日、日本青年会で「青い目の人形」の歓迎会が開催された。
- 1.5 日本水平社結成 全国水平社を脱退した南梅吉ら水平社右派と融和主義者らにより日本水平社が結成された。1926年5月の全国水平社第5回大会で綱領が改正されて階級闘争色が強まったことから、水平社内では主導権を握ったボル派とアナ派や右派の対立が深刻化していた。
- 1.10 初の首相放送 日本放送協会が初の首相放送となる「朝見式の勅語を拝して所感を述べ」(若槻礼次郎)を放送する。
- 1.21 久米正雄「安南の晩鐘」事件 作家の久米正雄が『女性』2月号に発表した「安南の晩鐘」について、無名の作家・安藤盛が“自身の創作である”と公表したことが、『東京朝日新聞』で報じられる。作者に断りなく題名を変え、久米名義で発表されたと判明し、問題化した。

昭和62年(1987)

◆首相

中曽根康弘(第73代) 在職期間:1986.7.22~1987.11.6(第3次中曽根内閣)

竹下登(第74代) 在職期間:1987.11.6~1989.6.3

◆主なできごと

- ・安田火災海上、ゴッホの「ひまわり」落札(53億円)(3月)
 - ・国鉄が分割民営化しJR6社発足(114年の歴史に幕)(4.1)
 - ・赤報隊事件(朝日新聞阪神支局に覆面男が侵入・発砲)(5.3)
 - ・東京高裁、ロッキード裁判丸紅ルート控訴審で田中角栄に実刑判決(7.29)
 - ・利根川進、ノーベル生理学・医学賞受賞(10.12)
 - ・ニューヨーク株式市場大暴落(魔の月曜日)で東京株式市場過去最大の下げ幅(10.19)
 - ・全日本民間労組連合会(連合)発足(11.20)
 - ・大韓航空機爆破事件(北朝鮮工作員によるテロ)(11.29)
 - ・後楽園球場閉場(50年の歴史に幕)(11月)
- 【キネマ旬報ベスト・テン】第61回【日本映画】「マルサの女」(伊丹十三監督)、【外国映画】「グッドモーニング・バビロン!」(パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ監督)
- 【芥川龍之介賞・直木三十五賞】第97回【芥川賞】村田喜代子『鍋の中』【直木賞】白石一郎『海狼伝』、山田詠美『ソウル・ミュージック・ラバーズ・オンリー』/第98回【芥川賞】池沢夏樹『スティル・ライフ』、三浦清宏『長男の出家』【直木賞】阿部牧郎『それぞれの終楽章』
- 【日本レコード大賞】第29回「愚か者」(近藤真彦)
- 1.2 箱根駅伝、初のヘリTV中継 日本テレビが東京-箱根間往復大学駅伝競走の往路戦にて、ヘリによる初めての実況中継に成功した。実況中継に携わった人数はこの日だけで約700人。中継車14台、テレビカメラ61台、クレーン車9台という大陣容だった。
- 1.4 アルゼンチンからタンゴの楽団など 本場の代表的な楽団や歌手が、相次いで来日公演を行った。1月4日~11日、グラン・オルケスタ・ホセ・コランジェロを中心に渋谷パルコ劇場で、本場アルゼンチンの「TANGO'87」を公演。12日から3月下旬にアルゼンチン最高の歌手エンリケ・ドゥマスを擁した「タンゴの時代」を開催。1月27日、映画「タンゴ・ガルドの亡命」が公開された。
- 1.5 110番システム、オンライン化へ 警察庁が「高度警察通報用電話システム」を開発し、実用化をめざして本格的に取り組んでいることが明らかになった。通報者側の電話の発信符号から現場への経路、現場見取り図など捜査に必要な基礎資料を瞬時に取り出し、パトカー出動に役立てるもの。
- 1.5 外務省、TV電話テストに成功 外務省が情報収集強化のため導入計画中だったデジタル回線による国際テレビ電話の試験通話が、倉成正外相とワシントンの松永信雄駐米大使との間で行われ、成功した。
- 1.6 ドバイで日本タンカーが被弾 新和海運のタンカー、コスモ・ジュビター号がペルシャ湾内のドバイで被弾した。
- 1.12 海運不況一商船三井人員削減 商船三井は海上従業員の人員削減(約2000人を3、4年で半減)を明らかに。
- 1.17 「映画女優」公開 「映画女優」(製作:東宝映画 原作・脚本:新藤兼人 脚本・監督:市川崑 脚本:日高真也 出演:吉永小百合、森光子ほか)が公開された。原作は新藤兼人の「小説・田中絹代」。日本映画を代表する女優・田中絹代の半生を描く。1987年度「キネマ旬報」ベスト・テン第5位。
- 1.17 日本初の女性エイズ患者認定 厚生省のエイズ対策専門家会議が、神戸在住の女性を新た

- にエイズ患者と認定。日本初の女性患者で、異性間性交渉による初の感染例となった。
- 1.18 東京23区内のポケベル局番、4ケタに NTTが東京23区内のポケットベル市内局番を3桁から一斉に4桁に切り替えた。4桁にすることによって余裕が出来るポケットベル局番を、近い将来不足すると予想されていた一般電話の市内局番に転用するためのもの。
- 1.20 「ルイード」閉店 東京・新宿3丁目、老舗のライブハウス「ルイード」が閉店した。1972年、ビルの4階に開店した時、ライブの主流はフォーク、ニューミュージックだったが、ロック、ダンス・ミュージックへと変わり、数百人の聴衆が踊ることで生じる床の振動や騒音が原因で退去に至った。最後のステージは、「ルイード」を原点に活躍したラッツ&スターが出演した。
- 1.20 富士通、「FM R」シリーズ発売 富士通がコンパクトな設計の卓上型ビジネスパソコン「FM R」シリーズ3機種6タイプを発売した。「FM R-30」は、ディスプレイ部分が逆T字形で、キーボードには赤外線ワイヤレス方式を採用している。
- 1.21 8ミリビデオとTVが合体 ソニーが8ミリビデオとカラーテレビを一体化させた「8ミリビデオテレビ・Video 8 COMBO」を発売した。27インチの大画面の左下に、8ミリビデオのカセット差し込み口がコンパクトにまとめられているもの。
- 1.21 スーパーウーマン・シンドローム 均等法の下、転勤・深夜労働・家事の圧迫が強まって鬱状態になる「スーパーウーマン・シンドローム」を精神科医が指摘した。
- 1.22 ナショナル・トラスト法人認定 和歌山県田辺市の財団法人「天神崎の自然を大切にする会」が、和歌山県知事により全国最初の「自然環境保全法人」(ナショナル・トラスト法人)として認定された。
- 1.24 複数受験期の国公立大学共通一次試験実施 受験機会を前期後期の複数にした国公立大学共通第一次試験実施(〜25日)。
- 1.26 高画像TV市販に 郵政省がEDTV(高画像化テレビ)の開発について、63年中には開発を終え、64年春には一般に市販開始する見通しを発表した。
- 1.26 郵政省、翌年度の高画像化テレビ実用化を発表 郵政省はテレビの大画面化・高画像化のニーズにこたえて、88年度にEDTV(高画像化テレビ)、90年度にハイビジョンを実用化の方針を発表。また5月18日ハイビジョン推進室設置、9月8日ハイビジョン推進協議会を設置。10月20日通産省、テレビメーカー11社と協同でハイビジョン普及支援センターを発足。
- 1.27 JR通信が事業許可申請 鉄道通信(のちのJR通信)が郵政省に第一種電気通信事業の許可を申請した。鉄道通信は国鉄の基幹通信部門から独立した電気通信会社であり、61年12月に国鉄の100%出資会社として設立された。
- 1.27 NECとIBMが大型コンピューター発売 日本電気(NEC)と日本IBMが、超LSI(大規模集積回路)の採用などで情報処理能力が大幅に拡充された大型汎用コンピューターの発売を開始した。
- 1.28 女性初の高裁長官就任 札幌高等裁判所長官に、高裁長官としては女性で初めて野田愛子が就任した。
- 1.29 東京テレメッセージが事業許可申請 東京テレメッセージが第一種電気通信事業の許可を郵政省に申請した。東京テレメッセージ(通称テレメ)は三井物産、東京電力、日本モトローラなどを中心に設立されたポケットベル会社であり、1980年代に全国に次々と地域テレメッセージが設立される先駆的存在となった。
- 1月 「NWS-800」発売 ソニーは「NWS-800シリーズ」を発売。CAD(Computer Aided Design)など設計を自動化するためのエンジニアリングワークステーションでOSにUNIXを採用、価格は95万~275万円。
- 1月 学術情報ネットワークの運用を開始 学術情報センター(NACSIS、現:国立情報学研究所)が学術情報ネットワーク(NACSISネットワーク)の運用を開始した。研究組織間における学術情報の提供が目的。
- 2.5 天文衛星「ぎんが」 文部省宇宙科学研究所(ISAS)はX線天文観測衛星「ASTRO-C(ぎんが)」を搭載したM-3-2型ロケットを鹿児島宇宙空間観測所から打ち上げ、軌道投入に

トピックスから見る昭和時代

2025年9月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／シナノ印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

《中性紙北越波クリームキンマリ使用》

〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉

ISBN978-4-8169-3068-3

Printed in Japan, 2025

本書はデジタルデータを有償販売しております。
詳細はお問い合わせください。